



地域と生きる

おなが病院・おかがき病院だより

【検診のおすすめ】

…検診で早期癌や生活習慣病が見つっています…

おなが病院・おかがき病院統括院長 杉町 圭蔵

あなたが心身ともに健康であれば、家族の方々は心穏やかに、毎日、明るく楽しい生活を送ることができます。しかし、幸せな家庭の中に、いろんな病気がいつの間にか忍び込んでいきます。

成人病は予防できますし、多くの癌は早く見つけたら完治します。日本人の死亡原因の50%以上は生活習慣病が関係しているといわれていますが、生活習慣病は自覚症状が全くないうちにいつの間にか進行し、心疾患や脳血管疾患などの重い病気が、ある日、突然発症します。

また、国民の3人に1人は癌で亡くなっていますが、早く発見して適切な治療を行うことによって、たとえ癌であっても半分以上は完治します。遠賀中間医師会病院は成人の検診に力を入れており、胃癌、大腸癌、乳癌、腎臓癌、肺癌など多くの癌が見つっています。

今回、上部消化管の内視鏡検査で早期食道癌が見つかり、大きな手術をすることなく、内視鏡で癌を切除して6年経過しましたが、完全に治癒している方をご紹介します。

この方は、体調に全く変化はなく、健康には自信があったとおっしゃっており、念のために受けた検診で癌の告知を受けても半信半疑でした。

症例 61歳女性 岡垣町在住 食道癌 自覚症状なし

2016年3月の検診で写真1のような早期食道癌が発見されました。幸いに癌は早く見つかったので、内視鏡で完全に切除(ESD)できました。術後、6年後の2022年3月の検診では、写真2のように、癌を切除した癒痕は見られますが、通過障害もなく、病気のことを忘れて元気に生活されています。

検診を受けるのは面倒ですが、この方が、もし検診を受けずにいたら、癌は進行してから発見されていて、今頃は、大変なことになっていただろうと思うと恐ろしくなります。

検診では、胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌、子宮癌、腎臓癌、膵臓癌などの癌だけではなく、高血圧、心不全、心房細動、重症糖尿病など多くの治療を必要とする疾患が見つっています。

病院は敷居が高いので行きにくいとおっしゃる方もいらっしゃいますが、検診を受けて異常がなければ、心が楽になり、また、やる気が起こるものです。

地域住民の皆さま方におかれましては、自分は健康には自信があるので大丈夫と過信するのではなく、毎年、検診を受けられることをお勧めいたします。



写真1 矢印:早期癌



写真2 矢印:術後6年の癒痕



おんが病院 新任医師紹介

消化器内科



医長

いはら ゆうたろう
井原 勇太郎

2022年4月より、消化器内科に勤務することになりました井原 勇太郎(いはら ゆうたろう)と申します。

北九州市出身で小倉高校卒です。2009年に佐賀大学医学部医学科を卒業し、九州大学大学院病態機能内科学消化器研究室(第2内科)へ入局後、福岡赤十字病院、九州中央病院、九州大学病院で消化管疾患を中心に従事して参りました。九州大学大学院では炎症性腸疾患を中心に研究を行い、2021年に学位を取得しております。

おんが病院では消化器疾患を中心に、地域の医療に役立てるよう頑張っていきたいと考えています。月曜日、水曜日に外来をしておりますので、消化管腫瘍や消化管出血、炎症性腸疾患等でお困りの際には、ご紹介よろしくお願いたします。

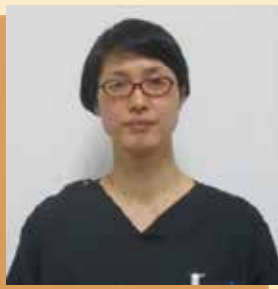


うつみ さとし
内海 聡志

2022年4月より、おんが病院の消化器内科に勤務することになりました内海 聡志(うつみ さとし)と申します。

現在まで、福岡赤十字病院、九州大学病院での勤務を経て当院へ参りました。まだまだ勉強の日々ですが、丁寧な診療を心がけていきたいと考えております。地域の皆様方のお役に立てるように精一杯努力していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

整形外科



ふじわら ゆうこ
藤原 悠子

2022年1月より、おんが病院整形外科で勤務しております藤原 悠子(ふじわら ゆうこ)と申します。

宮崎大学を卒業後、熊本で研修し、福岡に来ました。九州大学病院や市中病院で研修後、骨腫瘍や閉経後の骨粗鬆症について研究していました。

外傷からリウマチや骨粗鬆症などを含め、変性疾患などの慢性疾患まで幅広く診療に携わっていききたいと思えます。高齢化の進む中、少しでも地域の方々のお役に立てるよう、日々の診療に取り組んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。地域の医療に少しでも貢献できるよう努力して参ります。よろしくお願いたします。



やなぎた たかひろ
柳田 隆宏

2022年4月より、おんが病院整形外科に勤務することになりました、柳田 隆宏(やなぎた たかひろ)と申します。

九州大学を卒業後、九州大学病院、九州医療センター、佐世保共済病院、九州鉄道記念病院を経て、当院に赴任しました。

骨折を始めとする外傷を中心に診療を行っておりますが、外来では腰痛やしびれ等の慢性疾患や骨粗鬆症も診察しております。何かお困りのことがあればお気軽にご相談ください。地域の医療に少しでも貢献できるよう努力して参ります。よろしくお願いたします。

2 回目の業務棚卸しを実施しました

おかがき病院では、2022年5月に2回目の業務の仕分け作業(棚卸し)を行いました。ある一定期間、組織の中にいると好むと好まざるとにかかわらず、「今までやってきたことだから」とか「このやり方で特に不都合はなかったから」といった慣習をついつい受け継ぐようになりがちで、組織の硬直化を引き起こすことが懸念されます。そこで、私達は一度立ち止まり、現状の業務が本来の目的にかなうものとなっているかどうかを考え、皆で病院業務の見直しを実施することにしています。それが棚卸しです。

私は2年前の2020年4月におかがき病院に着任しました。それから約5か月後に業務の棚卸しを実施しました。それに引き続き、今回は2回目の棚卸しということになったわけです。

その具体的内容は、各部署で行っている日常の業務を次の三つに仕分けすることから始めます。①無くした方が良くと思うこと、②今後やってみたいと思うこと、③これからも継続してやった方が良く、の三つを各部署から挙げてもらいます。棚卸しの対象になった項目については、関係者と私との間でヒアリングを行い、どのように扱うかを取り決めました。第1回目の棚卸しの中で、①無くしたが良くとされたもので、最も大きかったものは情報の確認や伝達を、紙媒体を用いていることでした。そこで、ペーパーレス化への取り組みに力を注ぎました。早速、会議の議事録や一般的な通知、回覧等はメールや電子カルテ系ネットワークを使用することに変更し、委員会用の共有フォルダを設けて、情報を伝達するようにしました。また、各部署の代表者が集まって毎日実施していたモーニングカンファレンスは思いのほか不評でした。朝の忙しい時間帯に集まることのわずらわしさや、伝達内容はメールや文書で代用しても良いのではないかということがその理由でした。ただ、私は病院幹部が一日一回一堂に会し、病院運営の状況に目を通しながら意見を交換する場は貴重と考える立場から、このカンファレンスは時間を10分以内に絞り、効率よく情報伝達することを条件に継続することにしました。

その他、医療安全の推進、倫理委員会の設置と倫理教育の実践、物品の在庫管理の徹底、出退勤のタイムカードの活用、メンタルヘルス対応などの項目を挙げ、改革に努めてきました。

第2回目の棚卸しでは、コロナのこともあり、現場のスタッフとの細かな打ち合わせができませんでしたが、2022年度にはまた新たな目標を設定しました。病院ホームページの充実、他部署との合同会議の設置、専門職の病棟配置なども実施していく予定です。ある一定期間を置いて病院の課題を試行錯誤しながら、より良い病院づくりを皆で行っていきたくと願っています。

一般社団法人遠賀中間医師会 遠賀中間医師会おかがき病院

総院長 兼松 隆之

おかがき病院 2022 年度看護部目標

看護部は、2022 年の目標として

- 1.安全で質の高い看護の提供
 - 2.人材育成と自己啓発・研鑽
 - 3.看護師・ケアスタッフの職場定着の推進
 - 4.病院経営への積極的な参画
- と挙げました。その中のひとつを紹介したいと思います。

1. 安全で質の高い看護の提供

その具体策のひとつが ④身体拘束廃止に向けて倫理的視点で取り組むとしました。看護部が中心となり全職種に参加を呼びかけ身体拘束委員会を 2022 年 1 月に発足し、「身体拘束廃止に向けた取り組み 7 カ条」を作成しポスター掲示にて院内周知を行っています。

おかがき病院は身体拘束をなくすため

討議を始めました。



患者さんの尊厳のために
その拘束は本当に必要ですか？



身体拘束廃止に向けた取り組み 7カ条

1. 患者さんの基本的人権を尊重し、身体拘束廃止にむけて、組織のトップを責任者とし、病院全体で取り組みます。
2. 身体拘束廃止委員会を設置し、患者さん中心の医療・看護の実現にむけて議論していきます。
3. 患者さんの行動をアセスメントすることで、安易な身体拘束は行いません。
4. 転倒や転落などの事故が起こらない環境づくりを行います。
5. 緊急時やむを得ず身体拘束をする場合は、身体拘束使用基準を順守し、患者さん及びご家族の同意を得た上で、期限を設けて実施します。
6. 身体拘束をせず、医療事故が発生した場合は、主治医・多職種及び医療安全管理者と原因を十分検討し、患者さんに不利益がないように代替策を実施します。
7. 患者及びご家族に、身体拘束廃止に対する説明を行い、協力関係を構築します。そのうえで、医療事故が発生した場合は、状況の説明及び代替案を提示します。

おかがき病院 看護部長

松坂 まり子

発行日：令和 4 年 6 月 吉日

発行：遠賀中間医師会おなが病院・おかがき病院

編集：おなが病院・おかがき病院広報委員会